

### 県政の動き

2月11日(月)～4月10日(水)

2月14日(木)

★第1回県海洋再生可能エネルギー利用促進研究会  
2月17日(日)

地域医療フォーラム in 始良・伊佐

2月17日(日)・22日(金)

★匠による「鹿児島県の食」フェア

2月23日(土)～24日(日)

★第3回商店街グルメNo.1決定戦

「Show・1グルメグランプリ」

2月27日(水)

平成24年度県茶業振興大会

2月28日(木)

★かごしま遊楽館来館者800万人達成  
記念セレモニー

2月28日(木)

★わっせか鹿児島キャンベーンプロモーション

3月3日(日)

霧島ジオパークフォーラム

3月6日(水)

製造業アジア圏域販路開拓支援事業セミナー

3月7日(木)

春のシンナー・接着剤等乱用防止キャンペーン

3月9日(土)

ひつとべかごしま2013

～共生・協働フェスティバル～

3月10日(日)

★南九州西回り自動車道「川内隈之城道路」  
(薩摩川内水引インター～薩摩川内高江インター)開通式

3月13日(水)

★愛華みれさん 薩摩大使委嘱式

3月16日(土)～17日(日)

九州新幹線全線開業2周年記念イベント

3月24日(日)

おれんじ食堂定期運行開始セレモニー

3月26日(火)

★鹿児島ー台北線就航1周年記念式典

4月2日(火)

支援型自動販売機の県有施設への導入

★は写真入りで紹介

2月14日(木)

## 第1回県海洋再生エネルギー利用促進研究会



国が公募している海洋再生可能エネルギー  
―実証実験のための海域(実証フィールド)―  
の応募に向けた検討を行う「第1回鹿児島  
県海洋再生可能エネルギー利用促進研究  
会」を開催した。

研究会では、学識経験者の委員6名が出  
席し、県内における海洋再生可能エネルギ  
ーの分布状況や、実証フィールド誘致向け  
ての課題などについて意見交換を行った。  
県では、実証フィールド募集期限である  
平成26年2月末に向  
けて、引き続き研究  
会の開催や候補地の  
実測調査を行い、応  
募の可能性について  
検討していく。



2月17日(日)・22日(金)

## 匠による「鹿児島県の食」フェア



「本物。鹿児島県」の多彩な食のさらなる  
イメージアップを図るため、本県出身の一  
流シェフである、フレンチの中村勝宏シェ  
フ、和食の木浦信敏総料理長、イタリアン  
の濱崎龍一シェフ、フレンチの上柿元勝シ  
ェフを招聘し、本県産の食材を活用したフ  
エアを、2月17日と22日の両日、鹿児島市  
内の2カ所のホテルで開催した。

フェアでは、匠の至高の「技」と鹿児島が  
誇る「本物の素材」のコラボレーションに  
より、華麗なる「食」のハーモニーが奏でら  
れた。

また、今回のフェアに  
併せて、国内外のメデイ  
アや海外の有名ホテル  
のシェフ等を招聘し、国  
内外に「鹿児島県の食」の  
情報発信を行った。



## 第3回商店街グルメNo.1決定戦 「Show-1グルメグランプリ」本大会



2日間の大会開催  
期間中、延べ2万7  
000食が供される  
など会場は大盛況の  
にぎわいを見せた。



商店街の名物料理作りを通じて商店街の活性化を図ることを目的とし、今年で3回目となる商店街グルメNo.1決定戦「Show-1グルメグランプリ」本大会ががこしま県民交流センターで開催された。

参加16団体のうち、栄えあるグランプリは大会連覇となる枕崎市通り会連合会「枕崎船人めしSP」、準グランプリは志布志中央商店街「志布志黒豚三昧丼」、第3位は鹿屋市商店街連合会「プリモコ豚」に決定した。

## かごしま遊楽館来館者800万人達成記念セレモニー



セレモニーでは、かごしまPRキャラクター「ぶりびー」も加わり、くす玉を割って節目の達成を祝った。



東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」の来館者が800万人に達した。

「かごしま遊楽館」は、首都圏における物産や観光の総合的な情報の受・発信拠点として、平成7年5月30日にオープンし、今年で18年目を迎える。

800万人目の来館者となった方は、千葉県船橋市の一井啓子さん。オープン当初からのファンで、毎月1回は友人らとランチなどに訪れているとのこと。

## わっぜか鹿児島キャンペーンプロモーション



県と阪急阪神ホールディングスがタイアップし、九州新幹線全線開業で身近になった関西エリアを中心に「わっぜか鹿児島キャンペーン」を開催した。

鹿児島ツアーや黒豚、黒牛、焼酎などが当たるプレゼントキャンペーンの実施。14のグループホテルやレストラン・SPA一でのフェア、阪急梅田駅構内での特産品販売、百貨店物産展、阪急交通社による鹿児島旅行商品の販売などが行われた。

キャンペーン期間中は、ウェブや阪急・阪神鉄道沿線の情報誌、駅や電車内広告、ラジオ番組、イベントの実施などによりキャンペーンの告知が広く行われ、観光や食など「本物。鹿児島」が持つ多彩な魅力が多く情報発信された。



## 南九州西回り自動車道「川内隈之城道路」 (薩摩川内水引インター～薩摩川内高江インター) 開通式



南九州西回り自動車道の薩摩川内水引IC～薩摩川内高江IC間(3・5km)が無料開通した。川内川を渡る新たなルート(歩道も併設)が増えたことで移動時間が短縮され、産業や観光の振興など、川薩地域の交流促進・地域の活性化が期待される。

当日は、地元保育園児も参加したテープカットやパレードが行われ、開通を祝った。また、3月2日には道路を一般開放して、ウォーキングや物産品販売などの開通記念イベントが行われ、約1000人の参加者が開通前の高速道路上でこのひとときを楽しんだ。



## 愛華みれさん 薩摩大使委嘱式



県では、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を国内外に広くPRしていただくため、情報発信力の高い方に「薩摩大使」を委嘱しており、このたび、南大隅町出身で女優の愛華みれさんに委嘱した。

当日は、あでやかな大島紬姿で知事室を訪れた愛華さんに伊藤知事が委嘱状や名刺を手渡した。愛華さんは、「薩摩おごじよの度量の深さを持って、鹿児島の良さをどんどんアピールしたい」と抱負を述べた。

愛華さんは、宝塚歌劇団で花組男役トップスターとして多くの舞台で主役を務め、退団後は女優としてテレビや舞台で活躍する傍ら、悪性リンパ腫の闘病体験からガン征圧の啓発活動等にも尽力されている。



## 鹿児島ー台北線就航1周年記念式典



平成24年に就航した鹿児島ー台北線が、3月25日に就航1周年を迎えたことを記念して、鹿児島空港国際線ターミナルビルにおいて、式典を開催した。

式典では、くす玉を割り、乗客の代表者へ花束贈呈が行われるなど、県や市、空港関係者らが、1周年の節目を祝った。

台北線は、この間、延べ4万人に利用され、現在では、鹿児島と台湾、そして世界各国を結ぶ交流の架け橋として、本県にとって欠くことのできない重要な交通基盤の一つとなっている。

県では今後も、幅広い分野における相互交流や、双方方向からの路線の利用促進に取り組んでいくこととしている。

